

Advanced Media

Company Profile

株式会社 アドバンスト・メディア（お問い合わせ）

本社	〒170-6042 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42階	TEL:03-5958-1031(代表)	FAX:03-5958-1032
大阪支社	〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-3-11 ダイタイムビル 5階	TEL:06-6531-9651	FAX:06-6531-9652
名古屋営業所	〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル 302	TEL:052-559-0087	FAX:052-559-0088
福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-23-12 博多光和ビル 2階	TEL:092-482-1570	FAX:092-433-5506



Advanced Media, Inc.



#音声認識で Philosophy つくりたい未来へ

もしも、人とキカイが
自然な会話でつながる未来を
実現できるなら。

AI 音声認識 国内シェアNo.1*の
「AmiVoice®」があれば、
そんな楽しい世界だって、
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、
ワクワクできる未来をあたりまえに。
私たちは、
アドバンスト・メディアです。

AmiVoice®

音声認識
ソリューション

AI
アバター
AOI

AI
アシスタント
AOI

AI Super Humanization

人とAIの優れた点を融合し
サステナブルな社会を
プロデュースして
より良い未来を実現する

アドバンスト・メディアは、
最先端技術を活用したさまざまな
アプリケーションやサービスを
提供するばかりでなく、
それらの利活用スキルをも伝授し
社会のサステナビリティを
プロデュースすることを目指す会社です。

AIは人の仕事を奪うのではなく
相棒となりお互いを高め合う存在です。
人がそのようなAIにより、
自身、あるいは、属する集団、
そして、社会のサステナビリティを
プロデュースすることで
より良い社会の実現が
可能であると考えています。

Human Communication Integration

「機械」との自然な
コミュニケーションを
実現し
豊かな未来を創造する

私たちアドバンスト・メディアは、
有用な最先端技術を広く社会へ普及させ、
その実用化を通して
既存概念を創造的に破壊し、
全く新しい価値観・文化を
構築することに挑戦してまいります。

人が機械に合わせないと
意思が伝達できない
ハードコミュニケーションの時代を
人が自然に意思を伝えられる
ソフトコミュニケーションの
時代へと変革する。
そして、社会にとって、人にとって、
真に「楽しく」「役に立つ」世界の
実現を目指してまいります。

What's Advanced Media?

プラットフォームとして音声認識市場を牽引

自然な発話を高精度でテキスト化する独自の音声認識技術をベースに、音声認識ソフトウェアおよびクラウドサービス市場シェアNo.1の地位を確立。AI音声認識「AmiVoice」を用いたソリューション・プラットフォームの提供を通じて業務効率化やDXを推進。人とカイの自然なコミュニケーションを実現し、豊かな未来を創造します。



国内音声認識市場のパイオニア
1997年の創業以来、国内初の音声認識専門ベンダーとして市場を開拓。今後も市場を牽引し、人とAIが共に高めあう未来の実現を目指します。

国内シェアNo.1 AI音声認識AmiVoiceの技術力
25年以上にわたるデータとノウハウを活用した、高精度な音声認識。確かな技術力をご評価いただき、豊富な導入実績を誇ります。

幅広い業種に特化した製品ラインアップ
各業界のユーザーの声を徹底的に聞き、2万件以上の導入実績を持つ製品群。多岐にわたる業種、さまざまなビジネスシーンで役立つサービスを提供し、業務効率化・DX推進に貢献します。

「共に育む」社風で生み出す豊かな人材力
リーダーとプレイヤーが業務を通して共に育つことを目指しています。そして課題発見・解決に特化した営業と、音声認識技術のプロである開発がワンチームで多彩な解決策を提案します。

*出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2024」ソフトウェア/クラウドサービス市場

What's AmiVoice?

自然な発話に対応できる国内シェアNo.1*の音声認識技術



多くの人にとって、最も自然なコミュニケーションの手段は「声」でのやりとり。声を文字に変換するAI音声認識により、キーボード入力やボタン操作などの不自由なコミュニケーションではなく、人間本位の自由なコミュニケーションを実現します。

AmiVoice®

いつでも、どこでも、誰でも。声で書く。声で動かす。人とカイの自然なコミュニケーションを実現する技術です。

20,000件以上の導入実績

国内音声認識市場のパイオニアとして、25年以上にわたり、2万件以上の利用実績を重ねてきたため、さまざまなビジネスシーンの音声やテキストデータを豊富に蓄積しています。

トップクラスの高い認識率

常に最先端の技術を研究し取り入れながら、最新のディープラーニング技術も実装することで、業界随一の高い認識率を誇っています。

AmiVoice®

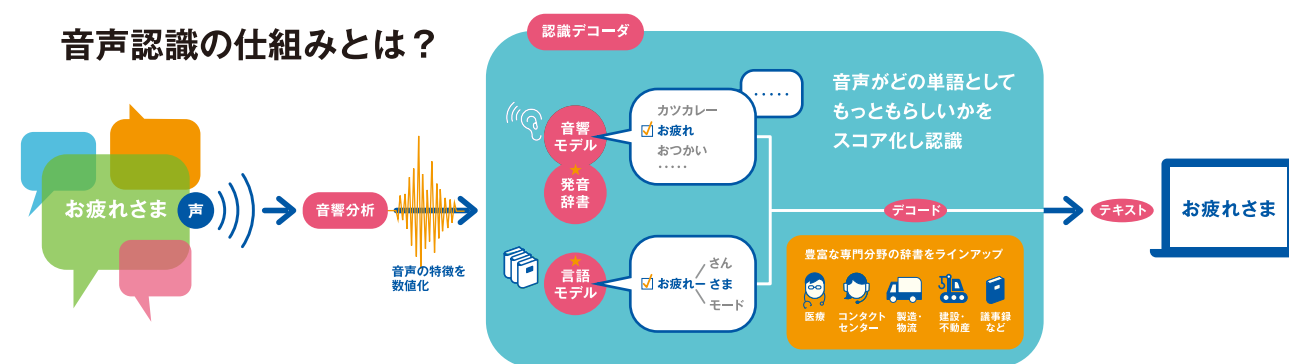
自然な言葉を正しく認識

発話スピードやイントネーション・アクセントへのフレキシブルな対応が可能。人間同士の会話と同様に、自然な発話でも高い認識精度を実現します。

幅広い業種と専門用語に対応

幅広い業種の専門用語に対応する音声認識エンジン。個別カスタマイズも可能です。

音声認識の仕組みとは？



※上図は「ハイブリッド型」の音声認識システム。その他に、音響モデル・発音辞書・言語モデルの働きを単一のモデルが担うことで認識精度・速度の向上が期待される「End-to-End型」も開発。

Business Use Scenes

いろんなビジネスシーンで
声を使う働き方を
あたりまえに

●問い合わせ対応
字幕ディスプレイ



AI対話

お客様対応、
ブランディング、
展示会、メタバースなど

●防犯

還付金詐欺検知
債権回収の法令順守支援
振り込み詐欺検知



会議

社内会議・庁内会議、
面談・商談・取材、
会見・決算説明会・
株主総会など



コンタクト センター

コンタクトセンター、
注文受付、代表電話など



医療・介護

病院、介護施設、
診療所、調剤薬局、
歯科クリニックなど

●医療

看護アシストシステム
内視鏡情報管理システム
自律型介護ロボット
介護記録作成



商談・接客支援

営業、接客、
商談、顧客対応



製造・物流

製造現場、
検査現場など

●製造物流

物流センターの仕分けシステム
食品衛生記録



建設・不動産

建設業界の現場、
事務所など

●エンタメ

ご当地 AI キャラクター
AI 車掌
AI 説明員・販売員
受付・案内ロボット
ホテルの客室ロボット
音声対話ロボット
多言語観光ガイド



開発者向け

アプリケーション
実装用開発サービス

●情報保障

ろう者・難聴者向けコミュニケーションアプリ

●その他

IP 無線の通話内容記録
カーナビ音声操作
英語学習アプリ
市場の競り

●住居

スマートロック
スマート家電

Product & Services

幅広い業種と専門用語に対応する AmiVoice® だからできること

導入メリット **会議**

手間のかかる会議録作成や内容整理・共有を自動化し、情報伝達のタイムラグも解消。発言の可視化により、意思決定の根拠を共有しやすくし、組織全体の生産性を底上げします。

Our Future

AI やキカイ同士が定型的な会議を担い、単純な意思決定の大半を自動化。人は複雑かつ創造的な議論や戦略の思索に専念できる未来を実現します。

ScribeAssist ProVoXT

導入メリット **AI対話**

独自の AI 対話技術を用いた自然なコミュニケーションにより、24時間365日さまざまなお客様対応が可能。マルチデバイス対応や、外見を自由にカスタマイズできるアバターの活用により、あらゆる顧客対応シーンで活躍します。

Our Future

高いコミュニケーション能力で、人間とAIの自然な会話を実現。減少する労働人口への対応や、人ならではの顧客対応に注力できる環境づくりに貢献します。

AI Avatar AOI

導入メリット **商談・接客支援**

ブラックボックス化している商談・接客内容の可視化により、商談スキルの向上・リスクの抽出・業務負担の軽減など、現場課題の解決を図ります。

Our Future

キカイによる商談自動化によって24時間365日の営業も可能に。営業機会の増加やデータを駆使した商談確率の上昇により、企業業績の向上に貢献します。

AmiVoice SalesBoost

導入メリット **製造・物流**

製造・物流現場作業におけるハンズフリー・アイズフリー・ペーパーフリー・ストレスフリーの実現により、業務効率化・ミス防止・危険回避を実現します。

Our Future

デジタイゼーションからデジタルイゼーション、そして、デジタルトランスフォーメーションへ。現場で収集されるさまざまな情報のデータ化と一元管理、その結果を元にしたビジネスの変革を支援し、新しい未来を創造します。

AmiVoice® Keyboard

導入メリット **コンタクトセンター**

コンタクトセンターにおけるお客様とオペレーターとのコミュニケーションの可視化とデータ活用により、業務効率化・顧客満足度向上・コスト削減を実現。顧客との重要なタッチポイントであるコンタクトセンターの価値を最大化します。

Our Future

顧客接点におけるコミュニケーションをテキスト化・分析し、お客様の性質の把握や潜在的なニーズの発掘を実現。AIエージェント(自律型AI)との連携により、より高度な顧客対応が可能に。

**AmiVoice® Communication Suite
AmiVoice® ISR Studio**

導入メリット **医療**

診療科ごとに進化する医療特化型の音声認識辞書を活用し、医療現場におけるさまざまな入力業務の効率化を実現。近年では蓄積されたデータを利用したタスクシフトやタスクシェアリングを通じて労働環境の改善に貢献しています。

Our Future

深刻な医療従事者不足の中、院内のあらゆるコミュニケーションから集めた患者様の声を活かしAIが各種業務をサポート。働きがいのある労働環境の実現と医療サービスの質の向上を目指します。

AmiVoice® Ex7 AmiVoice iNote

導入メリット **建設・不動産**

マンションなどの仕上げ検査や内覧会において、声でのデータ入力をサポート。専用にチューニングした音声認識エンジンで高い認識精度を実現します。キーボード操作に比べ格段に速く、機器操作の苦手な方でも操作が容易。検査後の協力会社振り分けも自動で瞬時に行うため、残業時間を大きく削減します。

Our Future

AI と人とのコラボレーションに最適なツールを取り揃え、建設業界の労働人口減少問題の解決に貢献します。

AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム

導入メリット **開発者向け**

さまざまな開発要件に最適な音声認識エンジンの提供により、機械学習の専門知識を有することなく、高精度・高品質な Speech to text 機能をお客様のアプリケーションに連携・実装することが可能になります。

Our Future

いつでもどこでも AmiVoice。あらゆるサービス提供者・ユーザーの日常やビジネスシーンに溶け込み、誰もが当たり前のように AmiVoice を使う社会を実現します。

AmiVoice® API AmiVoice® SDK

Customer

ユーザー企業

パートナー企業

History

AI・音声認識の黎明期から約30年にわたり 技術開発の最先端で活躍し、市場を開拓

AI・音声認識の歩み

1950年代
人工知能という概念が誕生
音声認識の研究が始まる
アメリカのベル研究所が、数字音声認識システム「Audery」を発表

1960年代
IBM が世界初の音声認識計算機「Shoebbox」を発表
京都大学が音声タイプライターを開発
MIT のジョセフ・ワイゼンバウム博士が、人間と自然言語で対話可能なプログラム「ELIZA」を開発
インターネットの先駆けとなる軍事ネットワーク「ARPANET」が登場

1970年代
日本・ロシアで「DP マッチング法」が開発され単語の連続認識が可能に
テリー・ウィノグラード博士が、自然言語による命令を理解・実行するプログラム「SHRDLU」を開発
スタンフォード大学にて、実用レベルのエキスパートシステム「Mycin」が誕生
Apple II 発売。パソコンが普及し始める

1980年代
カーネギーメロン大学が「隠れマルコフモデル」を応用し、統計データに基づく音声認識を開発
日本の通商産業省が「第5世代コンピュータ」プロジェクトを開始
NEC が日本初の音声ワープロ「VWP-100」を発表
マルチモーダル AI の研究が始動

1990年代
HMM と大規模音声データに基づく大規模音声認識が確立
Microsoft Windows95 にスピーチツールを導入。大衆向け PC の始まり

2000年代
Microsoft が AI アシスタント「Cortana (現: Microsoft Copilot)」の研究に着手

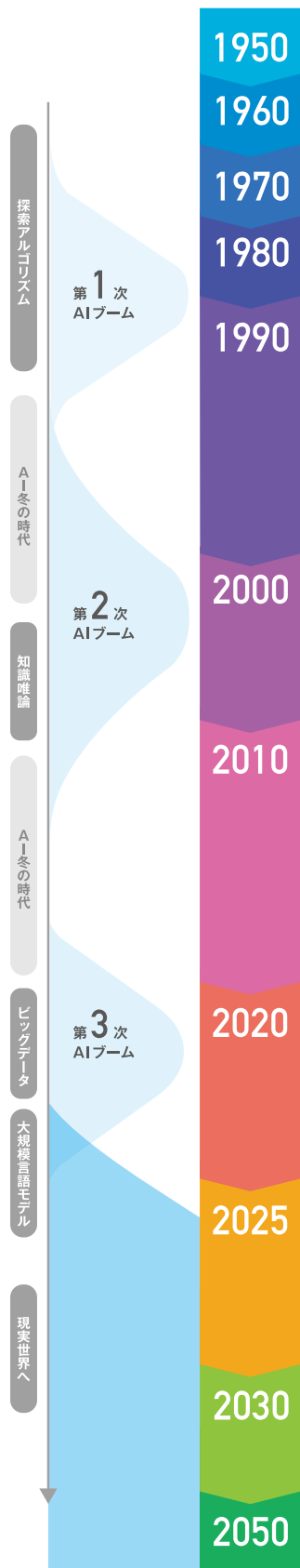
2010年代
音声認識にディープラーニング(深層学習)技術を実装
Apple がスマートフォンに Siri を搭載
深層学習時代の始まり
「End-to-End 型」の音声認識の研究が開始
音声認識の要素技術として活用可能な、高精度かつ学習時間の短いニューラルネットワーク「Transformer」が登場

Apple、Amazon、Google が AI スピーカーを発表

2020年代
対話型 AI「Chat GPT」が誕生
OpenAI が多言語の音声認識が可能なモデル「Whisper」を公開
「ChatGPT」が自然言語を用いた音声入力に対応

2026
データ枯渇の始まり

2045
シンギュラリティ (技術的特異点)



アドバンスト・メディアの歩み

1997 国内初の音声認識専門ベンダーとして、株式会社アドバンスト・メディアを東京都中央区に設立

1998 Interactive Systems, Inc.社(米国)と日本語音声認識システムAmiVoiceの共同開発を開始。同時にAmiVoiceをベースとした音声認識市場の構築事業に着手

2001 開発委託先である関連会社 Multimodal Technologies, Inc.社(米国)設立。Interactive Systems, Inc.社をMBOにより Multimodal Technologies, Inc.社に吸収

2002 通信をベースとした分散型音声認識 AmiVoice DSR (Distributed Speech Recognition) を発表

2005 愛知万国博覧会に当社の対話技術を実装した4ヶ国語対応の受付案内ロボット(アクトロイド)を展示

東京証券取引所マザーズ市場(現:グロース市場)に上場

2006 国際的な起業家表彰制度「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」の日本代表に代表取締役の鈴木清幸が選出

2008 タイ王国に子会社 AMIVOICE THAI CO., LTD. を設立
「音声入力メール」における音声認識技術が、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)主催の「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」2008を受賞

2009 AmiVoice 議事録作成支援システムが東京都議会の全常任委員会で導入
コンタクトセンター向け音声認識ソリューション「AmiVoice Communication Suite」をリリース

2011 医療向け音声入力システム「AmiVoice Ex7」をリリース

2013 ビジネス開発センター(大阪)を設立

2014 株式会社速記センターつくばを完全子会社化

2018 議事録作成支援サービス「ProVoXT」をリリース
医療向けAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice iNote」をリリース

福岡営業所を開設

2019 サンシャイン60に本社を移転
音声認識APIを提供する開発者向けボイステックプラットフォーム「AmiVoice Cloud Platform」をリリース

2020 名古屋営業所を開設

文字起こし支援アプリケーション「ScribeAssist」をリリース

2021 茨城県取手市議会・取手市と「音声テック関連技術連携協定」を締結

2022 一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)に加入

2023 建設業界に特化した人材サービスを展開する子会社、株式会社アミサボを設立

2024 音声認識ソフトウェア/クラウドシェアサービス市場1位を獲得(合同会社ecarlate「音声認識市場動向2024」)

議事録ソリューションプラットフォーム「VoXT One (ボクストワン)」をリリース

営業力強化ソリューションをシリーズ化した「AmiVoice SalesBoost」をリリース

さらに詳しい沿革をご覧ください



Top Message

新たな日常をつくる

ChatGPTなどの生成 AI が拓く未来への期待に世の中が沸き立っています。これは、人の発する AI に対するプロンプト(指令)により、必要なものやことが AI から提供される未来への願望に他なりません。未来の AI へのプロンプトがキーボードやタップではなく音声で行われ音声コミュニケーションが極めて重要になるイメージが湧くのも容易な時代になってまいりました。

これは、「人とキカイとの自然なコミュニケーションを実現し、豊かな未来を創造する」ビジョンの下で、日米における音声認識市場開拓に動んできた私たちの活動の大きな成果とも捉えることができます。

私たちは自然発話に高精度で対応できる、他社が真似られない音声認識技術の開発を起点として、目的分野ごとに特化し蓄積したデータによる音響モデルのアダプテーションと大規模言語モデル(LLM)のトレーニング、さらには第2次 AI の知識表現を取り入れた AI 音声認識技術の進化に加えて、第3次 AI ブームを引き起こしたディープラーニングをも取り込んだ、ハイブリッド型の AI 音声認識の技術を確立してきました。そして、音声認識を活用し顧客にとって必要なものをいかに生み出すかを常に考え、それらを開発し提供してきたことにより音声認識のソフトウェア及びクラウドサービス市場におけるシェア No.1^{*1} の地位を築いております。

これから私たちは、これまで日本で先駆的に導入から展開を行ってきた AI 音声認識「アミボイス」をさらに進化させ社会の必要に応えていきたいと考えております。

まずは、音声処理を前提とした音声 AI の導入^{*2} と企業のオウンドメディアのメディア価値を向上させるアプリ/サービスの導入^{*3}、そしてそれらを駆使して日本の喫緊の課題であるデジタルトランスフォーメーション(DX)促進への貢献に挑戦し、人と AI とが共存し互いに優れた能力を高め合う AISH^{*4} の時代を連れてまいります。この革新的な旅に皆様もぜひご参加ください。

*1 出典: 合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2024」ソフトウェア/クラウドサービス市場
*2 パーチャルエージェントの「AI Avatar AOI (AmiVoice Ontology Integrated)」やコンタクトセンター分野での自動 AI 応答サービス「AmiVoice ISR (Interactive Speech Responder) Studio」などの音声 AI と PC でのキーボードやマウス操作、スマホでのフリック入力や声で代替することによる効率化と快適性を提供する「声キーボード」AmiVoice VK、「声マウス」AmiVoice VM、「スピーチボード」AmiVoice SB などの仕事の相棒・AI パートナー。
*3 企業の Web サイトにオンライン面談獲得機能を簡単に安価に導入できる UPV (User Preference Viewer) サービス。
*4 AISH (AI Super Humanization、アイッシュ)とは「AI が人を助け、また、人が AI を使って能力を高める。そして、AI を超えた人の叡智などお互いの優れた点を融合し、人と AI とが共存すること。」



代表取締役会長兼社長
代表執行役員

鈴木 清幸



Company Overview

さらに詳しい会社概要をご覧ください



会社名	株式会社アドバンスト・メディア	
設立	1997年12月	
資本金	69億3031万円(18,392,724株)(2024年12月末現在)	
上場取引所	東京証券取引所グロース市場(証券コード:3773)	
従業員数	連結268名(単体241名)(2024年12月末現在)	

業務提携先 3M Health Information Systems, Inc. (米国)

役員	代表取締役会長兼社長	鈴木 清幸
	専務取締役	立松 克己
	取締役	大柳 伸也
	取締役	近藤 裕
	取締役	枝連 俊弘
	社外取締役(監査等委員)	岸田 至康
	社外取締役(監査等委員)	松室 哲生
	社外取締役(監査等委員)	佐藤 香代
	社外取締役(監査等委員)	張崎 悦子

主要株主
株式会社日本カストディ銀行(信託口)
鈴木清幸
株式会社BSR
(2024年9月末現在)

取得認証
一般労働者派遣事業者 許可番号: 派 13-306354
プライバシーマーク付と事業者登録番号: 第 10820562 号

グループ会社



AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国)
音声認識技術 AmiVoice を用いたリアルタイム音声認識機能や、録音通話の全文文化機能、タイ現地のコンタクトセンターに提供することにより、顧客満足度向上を促進してまいります。

速記センターつくば



株式会社速記センターつくば
主に地方自治体の議事録作成・支援をしております。今後は音声認識技術 AmiVoice と、これまで培ってきた書き起こしの技術を融合し、誰もが記録作成ができる環境を提供してまいります。

Access 本社



■JR・東京メトロ・西武池袋線・東武東上線「池袋」駅から徒歩13分
■東京メトロ有楽町線「東池袋」駅6・7番出口から徒歩6分

大阪支社



■大阪メトロ御堂筋線・四つ橋線・中央線「本町」駅から徒歩3分
■大阪メトロ四つ橋線「四ツ橋」駅から徒歩6分